

あにといもつと
きんしんそろうかん

R-18only

母親にノートパソコンを買ってもらった。



母親曰く、大学ではレポートや卒論やらでパソコンとキーボードに慣れておいた方が良くという事だ。

とはいえ健全な男子高校生ならパソコンでAV動画を見るのは当たり前前だろう。



お兄ちゃん、ただいまっん、

ああ、おかえり



カチヤッ



母親が父親と別れたのは
俺が中学生の時。

あとで私にも
パソコン使わせてね



ああ、
ああ、
いよ

そのため妹とは
最近までずっと
相部屋だった。

それ以来、手狭な賃貸アパートに
引っ越す事になった。

ただ妹も年頃になり、俺も大学受験が近いという事で今は俺の部屋となっている。

とはいえ、家も狭いので妹の荷物はそのまま。

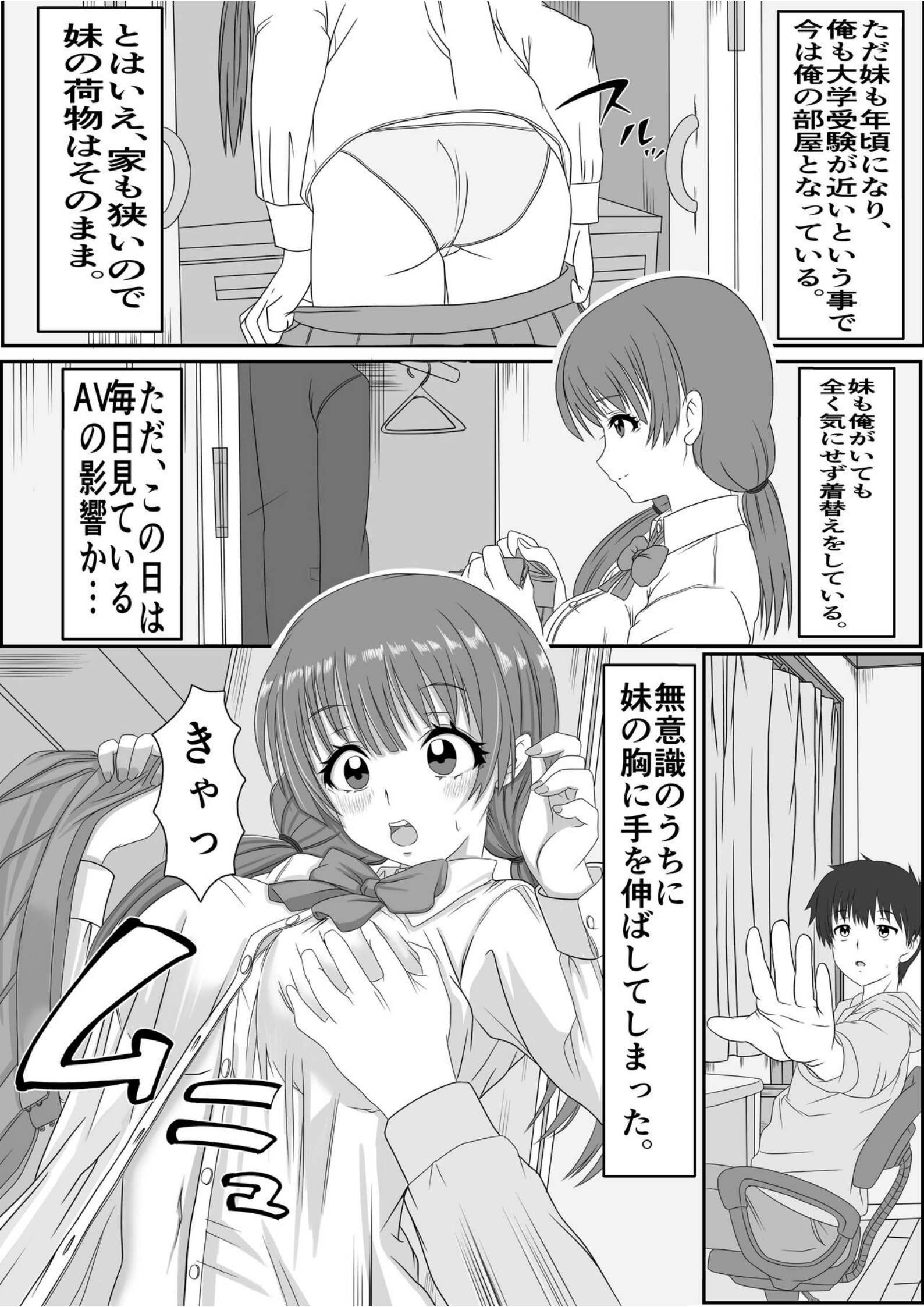
妹も俺がいても全く気にせず着替えをしている。

ただ、この日は毎日見ているAVの影響か…

無意識のうちに妹の胸に手を伸ばしてしまった。

きゃっ

4112





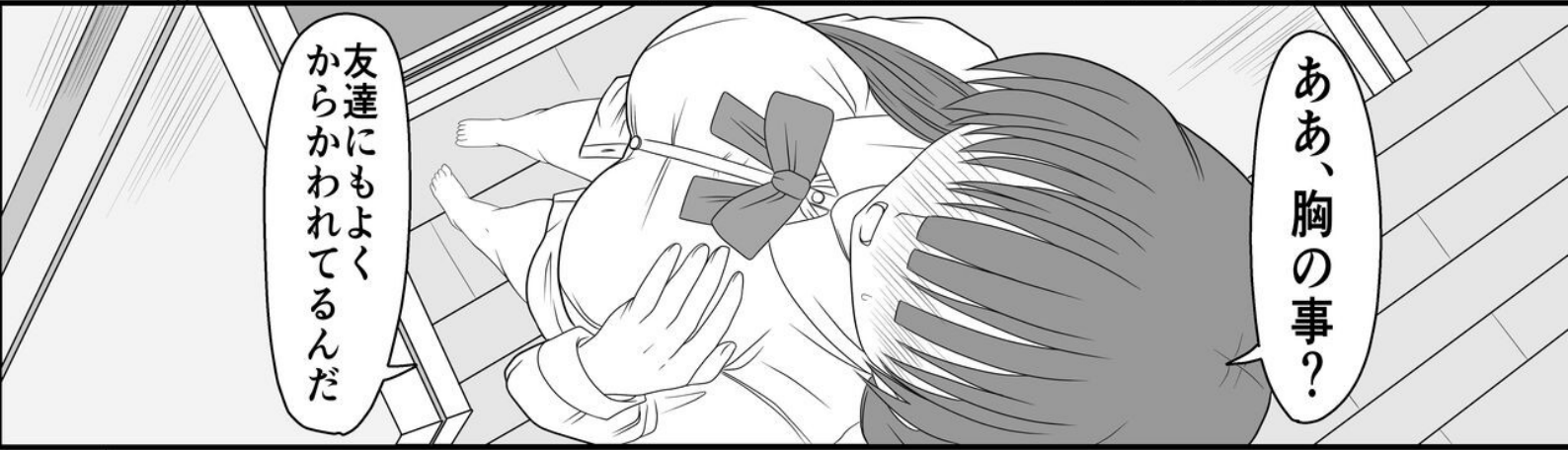
あ、ごめん

ずいぶん大きくなったなあ
と思つて…

俺が欲情しているとは
まったく気付いていない妹は
心底不思議そうに尋ねてきた。



ど、どうしたの？



ああ、胸の事？

友達にもよく
からかわれてるんだ



これだけ大きくなっちゃうと
少し恥ずかしいんだけどね



あ、



ドキッ

ドキッ

ドキッ

あ、お兄ちゃん、
あの……

私の着替えを見て、
大きくなっちゃったの？



え!?



しまった。
大きく勃起した俺の股間が
見つかってしまった。



不思議だけど
ちよつと嬉しい

…ふふっ



そ、そうなのかな？

あー…



お兄ちゃん
もうちよつと
良く見せてっ

えっ?!
ちよ、まっ

ガッ



こうなった時
男の人は
どうするの？

え、えーと
自分の手で出す、
かな…



う、うわあ



な、なんで?

ドキッ



ねえ、

私が手でしてあげようか?



やっぱり?

ない、嫌ではないけど



だ、だっつて
すごく痛そうだし

カアアッ
大きくなっちゃったの私のせいだし...





お兄ちゃんが
見てた動画で...

ドキッ
ドキッ

わあ



そんな事まで
知ってるんだ

うん、友達に聞いたたり



俺にフェラを
してるなんて

しんぞろ...



妹が...

はあ
くちくち

かたかた...



は、恥ずかしいから
あんまり見ないで...

ちゅわん



これはどんな状況だ?

れろ
れろ

兄妹でこれ以上はダメだと
頭ではわかってる。

お前の胸触っていいか？

…なあ、

うえ、
うん

でも妹の胸は…

ドサッ

布越しでも
はつきりわかるほど柔らかくて…

俺の理性を吹き飛ばすには
充分すぎるほど色気があった。



俺は我慢ができません
妹の上着をつかんで
一気に腋^{わき}までまくり上げた。

ばっ

妹のバストは仰向けでも
綺麗な形を保っており

かなりのサイズだと
伝わってくる。

お兄ちゃん、
私達兄妹だよ……？

妹も口ではそう言うが
嫌がる素振りは一切見せない。

俺は妹の柔らかい乳房を揉み、
乳首をつまみ口で転がした。

俺の頭のまにか妹はし、
俺の頭の手を伸ばし、

ハアハアと色気のある
息遣いになっていた。

ハア

妹のパンティの中
手を伸ばしてみると

あーっ

あっ

妹の恥丘は驚くほど柔らかく
触り心地が良かった。

妹の陰毛は真っ黒ではなく
薄い灰色程度でサラサラとした
感触は俺をさらに興奮させた。

はっ

さらに奥の肉の割れ目に
指を伸ばしてみると

あっ あ

ぬるっとした感触が
指を伝わってきた

何度か軽く
妹のあそこを撫でるだけで

あっ あっあっ

妹も指の動きに合わせて
小さく息を漏らし体を震わせた。

はっ

びん びん

私のお腹の中、動いてる…
なんだかゾワゾウするっ

あつという間に俺の指は
妹の愛液でぬるぬるになった。

はーっ

はーっ

あつ

んっ

んっ

妹のあそこから手をぬくと
粘液が糸を引いて
弧を描く様に落ちていく。

はっ

同じように我慢汁が
糸を引いているペニスを
妹の割れ目にあてがい挿入する

んっ

んっ

んっ

ペニスを出し入れするたびに
包み込むような膣肉の感触と、

ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ

ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ

ぬるっとした温かい感触が
ありえないほどの
快楽を伝えてくる。

妹は必死で
声を殺していた。

しかし、んっ…っという漏れる声から
妹の気持ちの良い場所が
手に取るようにわかる。

んっ

んっ
んっ
んっ

ほっ

んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



ごいごいめん、
お兄ちゃん、

はーっ

はーっ

私、先に…っ
イっっちゃうかもっ

妹の感じる部分を集中的に
突いていると
素直に申告してきた。

ああ…あっ

イクッ
ちゅううっ

ほどなくして
妹が先に絶頂した。



妹の絶頂する姿に萌えた俺は大量の精液を妹の膣内に放出した。

あ

あっあっ

ト
ム
ッ

あっ

はっ

ト
ム
ッ

ト
ム
ッ

ト
ム
ッ

ト
ム
ッ





んっ

ずん?



お、お兄ちゃん、

…ちゃんと出た?

はーっ

はーっ



大量の精液を吐き出した俺は
妹の胸の中に倒れこんだ。

はあ

はあ

はあ



ううん、
とっっても嬉しかったよ

はあ

はあ

はあ

ギョッ



ああ、でもお前初めてだったろ?
俺で悪かったな





今日もいっぱい
出たね...♡



春が来て俺は晴れて
大学生になった。

俺の1人暮らしについては
妹は最後まで反対していた。



俺たちの関係は
まだまだ続きそうだ...



また、
来ちゃった♡

：今は妹が毎日、
俺の部屋を訪ねてくる。

